

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [二宮尊徳伝 \(6\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

二宮尊徳伝 (6)

借りた者は、借りた時の感謝の気持ちを忘れずにきちんと返済すれば、それが“仁・義・礼・智・信”の五徳を実践したことになるのです。

権利の行使や義務の履行は信義に従って誠実になされるべきである、というのが尊徳の考え方です。

道徳的なルールと経済的な行為とを調和させ融合させようとする（道徳経済一元）は、尊徳哲学の大きな特徴のひとつです。

徳川の幕藩体制も元禄時代を頂点にして衰退の一途をたどっていました。

米の増産や年貢などの収入は限界に達していましたが、消費支出は増大するばかりです。

収入の不足を補うための借金も、返済できる当てもないまま膨張するばかりでした。

小田原藩も同様です。

そんな小田原藩の再建をも頼まれた尊徳はどのようにして成し遂げたのでしょうか。

まず彼は再建を任された村を徹底的に調査します。

過去の年貢の納付や現在の実態、そしてこれまでの領主の施策などありとあらゆる事実を調べ上げていきました。

そのうえでこれからお百姓が納める上納米の限度（分度）を決め、それ以上は上納させないことを約束します。

お百姓たちの努力によってそれ以上収穫できた時には、それを尊徳が預かり荒地の開発や用水事業のための費用に当てるようにしました。

これができれば10年後には年貢は2倍になる計算でした。

お百姓たちの意欲の振り起こしを図ったのです。

また自らが持つ全財産を売り払い、その代金を復興事業の資金に充てました。

妻子ともども村へ移り住むと本格的な村おこしの事業（これを“仕法”と呼びました）を始めます。

朝早く起きて村中をぐるぐると巡回しました（これを“回村”と呼びました）。

会う人ごとに声をかけ、農家に立ち寄り、時には當農指導や生活指導をしました。

仕事に精出す者を見かけると「表彰」をしたりして、やる気のないものを叱責するのではなく、意欲の高いものを褒めて意欲の低い者が感化されていくようなやり方をとりました。

[\(7\) に続く](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.